

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	－	－
(北関東)	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が落ち着けば、来客数は戻るとみているが、宴会予約が取れないのが痛手である。
	○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が甚大にならないという前提条件は付くが、社員食堂、福祉施設、幼稚園、保育園等の各業態とも、提供食数は増加傾向が続いており、元の状態に戻りつつある。レストランの戻りは鈍いが、テイクアウトメニューの充実や配送業者の登録先増加により、店舗の売上を一部なりとも補填してくれると考えている。
	○	都市型ホテル（副支配人）	・小規模団体やスポーツ、レース関係の予約が入ってきている。ビジネス客はほとんどが直前予約である。
	○	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスと共存していくというWithコロナの考え方が浸透してきている。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数の減少が見えつつあるため、今後は改善が見込まれる。
	○	通信会社（総務担当）	・新型機種が発売予定である。新型機種に反応する若い世代は買物に出掛けることに対して、新型コロナウイルスの影響を受けにくいいため、やや良くなる。
	○	設計事務所（所長）	・次期総理の影響も考えられるが、新型コロナウイルス感染者の減少やワクチンの普及を鑑み、景気は上向きになると予想する。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染の再拡大で、外に出掛けようとしないう高齢者が増えてきている。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・秋になるので暑さはなくなるとみている。地域の諸行事の復活が、人々の動きを良くしてくれるのではないかと。しかし、新型コロナウイルスが収束するかどうかは疑問である。
	□	一般小売店〔青果〕（店長）	・取引先のうち、規模の大きい結婚式場やホテル等は、新型コロナウイルスが完全に収束しない限り、結婚式や宴会等がないため、元には戻らない。後は、新型コロナウイルスがどこまで広がっていくのか、それとも収束していくのかによって、売上が変わってくる。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明ななか、当面の景況回復は期待できない。外出自粛ムードが続けば、基幹商材である衣料品の不振が継続する。
	□	百貨店（営業担当）	・当県では、ここにきて新規感染者数ゼロの日がほぼなく、戦々恐々とした日々が続いている。店全体では客単価、商品単価共に下落しており、特に、非食品群の落ち込みが激しい。今後も余り変わらない状況が続く。
	□	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの影響は変わらない。
	□	スーパー（商品部担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、コロナ禍の影響が薄まらない状況は、この先も変わらない。厳しい現状が大きく変化するとは思えない。
	□	コンビニ（経営者）	・来客数は今より減ると思うが、客単価は上がるとみており、どちらとも言えないというのが、正直な回答である。また、今以上に新型コロナウイルスが感染拡大し、いろいろな制限が出されると、景気は悪くなる。
	□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着くかどうかで、決まってくる。
□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスが収まらない限り、この状況は余り変わらない。	
□	家電量販店（店長）	・家電業界は季節に左右されやすいため、変わらない。	
□	家電量販店（店員）	・巣籠り需要が続けば、耐久消費財の冷蔵庫や洗濯機、掃除機、電子レンジや炊飯器等が、好調を維持する。	
□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーでは、北米向けの輸出が新型コロナウイルス流行前の状態に戻り始めており、生産体制も原状復帰しつつあるので希望が持てる。一方で、新型コロナウイルスの発症者が確実に増えてきているため、会合等の外出の機会が減り、レストラン等の落ち込みが激しい。業績が良いのは、食料品スーパーなどの一部業種だけである。	
□	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの状況のなかで、これ以上良くなることはあり得ない。客の様子が全く違い、販売が伸びると思わない。	

□	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスが今後2～3か月先で落ち着く保証がない。コロナ禍が落ち着くまでは現状と同じくらいの景気の悪さで推移していくのではないかと。当社は、観光地に立地する会社なので、2～3か月先に観光客が全盛期まで戻るとはほばない上に、半分程度まで回復する目安もないので、変わらない。
□	自動車備品販売店（経営者）	・消費税増税ではかなり落ち込んで、それまでの流れが変わってしまっていた。そこからやっと回復したところで新型コロナウイルスが流行し、やはり販売、修理の量が減ったが、現在はやや回復基調にある。先に向かつては、客も慎重なので、それほど急な売上増は期待できない。様子見の状態である。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・地方でも新型コロナウイルス感染の第2波になっているので、現状のままの生活が続くそうであり、今後も変わらない。
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・社会情勢を考えても、良い判断材料がない。
□	一般レストラン（経営者）	・いまだ新型コロナウイルスの流行が収束していない上に、感染拡大の第3波が来るかもしれないという危機感を感じている。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染拡大の第2波を受けて、宴会売上は、引き続き前年の20%程度にとどまっている。7月は回復の兆しが見えた宿泊も、東京都の感染者数が増えるにつれてキャンセルが発生したり、予約の伸びが止まったりしている。最終的に55%程度の稼働率を見込んでいたところが、45%で終わりそうである。
□	都市型ホテル（営業担当）	・2～3か月後に新型コロナウイルスの状況がどう推移し収束するか、今のところ不透明である。空気が乾燥する時期に向かい、インフルエンザ等ほかの感染症との関連もあるので、なかなかビジネスの出張やレジャーでの宿泊は懸念されるところである。
□	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえないため、旅行需要が見込めない。
□	旅行代理店（所長）	・秋の繁忙期となるが、メインである団体や学生の需要に期待ができない。せめて、個人需要だけでも伸びてほしい。
□	通信会社（経営者）	・当地では新型コロナウイルスが、市中感染というほど感染者が増えているわけではないため、現状、大きな売上減とはなっていない。今後、地方の感染者が増えるようだと影響は出てくるかもしれない。
□	通信会社（局長）	・新しい生活様式が手探りのため、安心した生活に戻るまでは、通常の消費行動は取りにくい。
□	ゴルフ場（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者数の動向次第だが、現状程度で推移するとみている。
□	競輪場（職員）	・全国の販売レースもほぼ同様に推移している。
□	設計事務所（所長）	・現状がしばらくは維持されるのではないかと。
□	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するか、収束する目安が出ない限りは良くならない。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスで、この先どうなるか分からない業種もあるので、何とも言えない。悪くなっていくのではないかと。消費税は元の税率に戻してもらわないと消費は増えない。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	・冬に向かつて新型コロナウイルスが猛威を振るい始めると、たとえ公的機関が緊急事態宣言を出さなくても、観光客は今よりも減るのではないかと。2～3か月先の学校や団体旅行のキャンセルが相次いでいるため、景気回復は相当先ではないかと考えている。
▲	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が想像以上に長引いており、当店を含めた地域のイベントが、中止若しくは大幅な内容縮小となっている。
▲	コンビニ（経営者）	・これから冬に向かつて、新型コロナウイルス感染の第3波の恐れがあり、再び消費が冷え込むのではないかと。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は少しずつ和らいでいる感じがしており、昼の来客数が戻りつつある。しかし、店舗前の道路工事が完了する3月までは、回復は望めない。片側2車線が1車線となり、渋滞することも多く、店への車の出入りを大きく阻害している。

	▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスにかかわらず、8月がまあまあの成果であったのは、真夏日の連続で飲物と暑さ対応商材が非常に売れた結果である。今後は続かない。
	▲	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスのなかで、首相の辞任による内閣改造となる。問題山積みで、次期総理大臣のリーダーシップや政策によって、経済が持ちこたえられれば良いと思うが、現実はその簡単ではない。
	▲	衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルスの感染予防が始まって約半年、これから先、収束がいつになるのか分からない状態である。現在は夏祭り等の時期であるが、それぞれ中止ということで、祭礼用品を取り扱う当店の売上は前年の80%ダウンという状況である。早く収束してほしい。
	▲	住関連専門店（仕入担当）	・先行きは不透明で読みにくいが、先行きに対する不安は節約志向を呼び起こし、デフレの流れを徐々に感じている。特に、前年9月は消費税増税前の駆け込み需要があったため、前年との比較ではマイナスとなる予測である。
	▲	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスに対するワクチンや治療薬は、いまだ出てきていない。この冬はインフルエンザとのダブル流行が懸念される。
	▲	スナック（経営者）	・依然として、客が戻ってくる様子がない。従来の顧客は「外に出ることに罪悪感がある」と話している。そうしたことから、売上や集客が増えることは望めない。
	▲	テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーンが開始されたものの、期待していた夏季繁忙期とはならず、好天でも閑散期のような状況で、今後に期待が持てない。客も自粛ムードのなかでは旅行に行ってきた話もできないため、土産用の箱菓子類の販売が伸びない。入場者数と売上の減少に苦慮するとみている。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・県内の新型コロナウイルスの感染拡大傾向が続いているため、3か月後はまだ悪い状況なのではないか。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善されない限り、回復は見込めない。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・人が動かなくなるということは、当然お金も動かなくなるということである。目を追うごとに、悪い状況が拡大傾向にあり、倍々ゲームのような形で悪くなっていくのではないかと感じている。人とお金が循環しない限り、更にひどい状況になっていく。
	×	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスの影響は今後も継続すると予測される。東京オリンピック開催も中止になる可能性があり、打開策がない。
	×	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・新型コロナウイルスの先が見通せないなかで、大幅な減少が続いている。今後もこの状況が更に続くのではないかと。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がみえない。当県では感染者数が増加傾向にある。
	×	タクシー運転手	・来県者がいなければ需要が増えない。悪くなる一方である。
	×	タクシー（経営者）	・昼も夜も動きが悪いので、この先も悪い。
	×	タクシー（役員）	・国の施策が余りにもひどいので、悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの終息はみえず、地方の低迷は止まるどころか悪化を続けている。コロナ対策の補助事業の申請も続けているが、焼け石に水である。終息宣言があったとして、世の中の動きが通常に戻ることはないだろう。新しい生活への対応が急務である。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響や、内閣総理大臣が変わるので、先行きは不透明である。
	×	美容室（経営者）	・米中の狭間で漂い、方向性のないちぐはぐな国の政策に人々の不満が募っている。
企業 動向 関連	◎	—	—
	○	化学工業（経営者）	・余り良くない状況だが、引き合いや受注が確定した物件も出始めているので今よりは良くなる。
(北関東)	○	一般機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で止まっていた新規案件も動き始めている。緊急事態宣言のような形で経済を止める動きが出なければ、徐々に良くなっていく。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・現状の受注量からみても、先行きの販売は増加する。

	□	窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・前年同期より売上は良い。
	□	金属製品製造業(経営者)	・仕事が多くなるように日々努力して、得意先などを回っているが、先のことは全く分からない。
	□	金属製品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスによる自粛ムードが高まっている。人の移動を2～3週間厳しく規制し、その間に感染者の検査と隔離を徹底し、その後は自由移動にするのはどうか。ただだと自粛が続くと経済が崩壊する。
	□	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・この2～3か月では回復しない。得意先5～6社はいずれも受注量、販売量が落ち込んでおり、この先も現状のまま、仕事量は少ないとみている。
	□	その他製造業〔消防用品〕 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響が、まだ残ると考える。
	□	建設業(開発担当)	・現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。前政権時は「コンクリートから人」へのキャッチフレーズで、建設業は悪者扱いされていた。近年の気候変動で、日本全国で大雨による災害が発生している。災害復旧を担う建設業者は大事な仕事だと自負している。ただし、建設業は高齢化が進んでおり、従業員の確保が難しくなっている。経営も10年以上厳しい状況が続いている。
	□	輸送業(営業担当)	・例年は秋冬物家電のヒーター、電気カーペット等の暖房器具が動き出すが、今年は残暑も厳しくなる予想のため、少し遅れそうで、月半ばまでは物量確保がやや心配される。
	□	不動産業(管理担当)	・取引先から契約金額を下げたいという話が多く、安い価格の同業他社に仕事を取られてしまうこともあるため、今後も悪い状態が続くとみている。
	□	経営コンサルタント	・今と同じように、社会全体、特に、マスコミ等が新型コロナウイルスに関心を持ち続けた対応行動をした場合、感染者の増減にかかわらず、地域経済は委縮し、出口を見つけられず、停滞を余儀なくされる。今後は資金繰りに持ちこたえられなくなった中小零細企業の存続が危ぶまれ、更に破産や自主廃業が続出する可能性が高くなる。
	▲	電気機械器具製造業(経営者)	・今後の新型コロナウイルスの影響について、取引先もまだ見極められない状況だと言っている。
	▲	建設業(総務担当)	・民間の仕事が軒並み延期や見送りとなっているため、先行きが不安である。
	▲	広告代理店(営業担当)	・商業施設、観光地共に、客足が戻る気配がなく、既に経営が成り立たなくなっている中小零細企業が増えている。
	▲	司法書士	・客の様子を見ていても、積極的に動いている方はほとんどいないので、今後3か月くらいでは、回復の兆しは見えないのではないかと。
	▲	社会保険労務士	・新型コロナウイルスのワクチンができるなど、先が見えてくれば、お金を使うだろうが、そうでない場合は冬のボーナスは支給減と予想されるため、財布のひもは固くなりそうな気がする。
	×	電気機械器具製造業(経営者)	・月を追うごとに受注量が落ちてきて、売上も落ちている。この先回復するのはいつごろになるか、全く見当がつかない。薄暗い闇を走っているような状況である。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルスの感染者数は現在は非常に多いが、いずれ頭打ちになるだろうという予測もあっても、予約状況は以前よりも改善傾向にある。当市の観光施設や宿泊施設については、2～3か月先は徐々に改善するのではないかと。
	○	人材派遣会社(管理担当)	・秋からは自動車部品の生産計画が増えて、休業等が少なくなる見込みのため、やや良くなる。
	○	職業安定所(職員)	・雇用調整助成金の特例期間延長により、雇用の維持が見込まれる。
	□	人材派遣会社(経営者)	・中小小売店等の部門では、野菜、衣料品、猛暑のための家電等、今後の売上の伸びが期待できる。人手については調達力が弱いのか、採用内容は不明ではあるが、幾分活気が出てくると思われる。学校も始まっているので、食が優先になり、購買力も上がる。
	□	人材派遣会社(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、これから先どういふふうになるか全然読めない。非常に心配している。
	□	人材派遣会社(社員)	・業種にもよるが、業績悪化で正社員の新規求人が増える見込みはない。

□	学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルスの収束がみえない。
▲	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は1.01倍と前月に比べ0.05ポイント改善したが、依然として、新型コロナウイルス関連の影響で、雇用調整助成金を活用し、休業を行いながら雇用の維持を図っている事業所が多い状況が続いている。
×	*	*